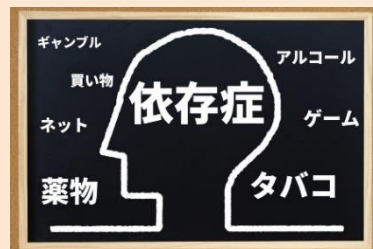


## ご存じですか？ コロナ禍で深刻化する依存症



アルコール・薬物・ギャンブル・摂食・ゲーム・タバコ・・・それらの言葉の後に「依存症」をつける精神病があります。特定のものに心を奪われ、自分ではコントロールできなくなる病気です。高橋が生活保護ケースワーカーをしているとき「依存症」が、家庭崩壊や個人の問題行動の背景に見え隠れしていました。そして今、コロナ禍で依存症の問題が深刻化しています。

### 市民啓発の充実で早期の回復を

依存症からの回復に、薬は効きません。本人や家族が、同じ悩みを持つ自助グループでの体験談を聞く中で、ある時ふと自分の問題に気づくことが回復のきっかけとなります。市民啓発に多くの方が参加し、適切なタイミングで自助グループへの参加を当事者に勧めることが大切です。

依存症の相談は・・・  
 ひょうご・こうべ依存症対策センター  
 #7330 か  
 078-251-5515  
 祝日、年末年始除く 火～金曜日  
 9:30～11:30・13:00～15:30



すいせい・ベーシックアカデミーのスタッフの方々と

摂食障害の方を対象とする自立訓練施設「ベーシックアカデミー」の方と一緒に、関西学院大学で学生相談事業を行っている垂水区の社会福祉法人「すいせい」を訪ねました。学生の約2%が利用するカウンセリングの利用者の中には「摂食障害」の方がおられるとのことで、今後の連携を確認しました。



兵庫県司法書士会館の前で、家族の会の方々と

「全国ギャンブル依存症家族の会 兵庫」の方々5人と一緒に、兵庫県司法書士会を訪ねました。5人がそれぞれ体験談を語り、司法書士さんも「借金問題の背景にギャンブル依存があることに気づくことがある」と応じてくれました。啓発パンフレットを全ての司法書士さんに配布することや、司法書士の研修への家族・本人の参加を検討していただくことになりました。



神戸市断酒協議会の事務局長さんと

50年の歴史を持つ「兵庫県断酒会」。神戸市の3つの断酒会の連合体「神戸市断酒協議会」が神戸市からの市民啓発事業を受託し、市民酒害セミナーなどを行っています。



神戸ダルクのスタッフさんと

神戸ダルクは、薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症からの回復を支援する生活施設。1日3回のミーティングや日々の仲間との関わりを通じて自分を見つめなおします。

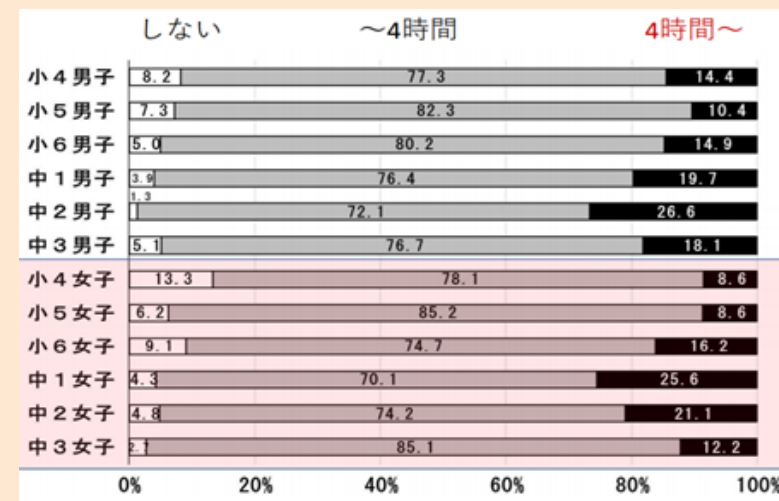
### 神戸「依存症」ネットワークの結成を

6月21日の福祉環境委員会で高橋は、神戸市が神戸市断酒協議会に委託している市民啓発事業をほかの依存症にも拡大すること、そのために依存症関係団体のネットワークの結成を求めました。神戸市精神保健福祉センター長は、「ネットワーク結成を検討する」と答弁し、今年度中に各団体の意見を聞いていくこととしています。

## ゲーム依存など 依存症の低年齢化に対策を

4月に開催された神戸市総合教育会議で、神戸市の小中学生の1～2割が、1日4時間以上インターネットにつながっているという調査結果が発表されました。(グラフ参照) もちろんその子たち全員がゲーム依存になるわけではありません。しかし、ゲームで現実のストレスを回避する成功体験が、将来の依存症のベースになる可能性もあり、子どもの時からスマホやゲームの使い方を啓発していく必要があります。

神戸市小中学生のネット接続時間 (%)



## こども家庭センター 一時保護所の生活ルール改善へ

高橋が2月議会で追及した、こども家庭センター一時保護所の刑務所のような生活ルールの問題。入所経験のある中学生が記者会見で告発し、当局もやっと改善に動きだしました。

6月の教育こども委員会でこども家庭局は「生活ルールも含めて一時保護所の運営について第三者評価を行う」と表明しました。これは、中立的なNPO法人などが利用者本位のサービスになっているかなどを判定するものです。高橋は、改革の第一歩として評価するとともに、入所経験のある子どもから意見を聞くことも含めて市民に開かれた「あり方検討委員会」の設置に進むよう求めています。



一時保護所での体験を語る女子中学生

## 多井畑西地区 都市局が「今年度中に里山保全構想を作りたい」と表明

垂水区のつつじが丘や桃山台と須磨区が多井畑厄神の間に広がる多井畑西地区。昨年7月に神戸市が、全体の4割を占めるUR都市機構所有地を無償で譲り受け、里山保全を行う計画を打ち出しました。高橋も神戸市西部に残る貴重な自然をぜひ守りたいと思います。

6月21日の都市交通委員会で、担当部長は「地権者の皆さんと協議を重ねている。今年度中に里山保全構想みたいなものを作れたらと思う」と答弁しました。つなぐ神戸市議員団のあわはら市議は「周辺の環境保護団体などと共に、まず市有地でモデル的な事業



を始めようか？」と尋ね、部長は「できることから竹林の間伐とかを始めたい」と答えました。地権者の皆さんと周辺の環境保護団体の住民がいっしょに里山保全の取り組みを進められるよう、高橋も努力してまいります。



2021.7.7. 7:30AM  
 まつただえこさん…拒食症(摂食障害)と向き合いながら社会問題を発信する漫画家

## 高橋ひでのり プロフィール



- 1957年生まれ。
- 1984年京都大学を卒業後、神戸市役所に就職。生活保護ケースワーカーとして勤務。

- 1995年阪神淡路大震災時、避難者の生活保護受給のため奮闘。垂水区役所などで国保・年金業務を担当。
- 勤務と並行し一市民として平和・脱原発・差別撤廃などの市民運動に参加。
- 2011年 精神保健福祉士の資格を取り、精神障害者の成年後見ボランティアに参加。
- 2017年3月、59歳で退職
- 2019年4月神戸市議会議員選挙(垂水区)に立候補し4162票で初当選。
- つなぐ神戸市議員団の政調会長。福祉環境委員会委員。
- 趣味：ゴスペル・登山

Facebook発信中



## 土砂くずれが心配な場所はありますか？

熱海市で痛ましい土石流災害が発生しました。気候変動が進む中、風水害を予防することも行政の大事な仕事です。垂水区内で、土砂くずれなどの心配な場所があれば、裏面の当会連絡先までご一報ください。

## アンケート

裏面の当会連絡先までE-mail、FAX、郵送でご回答をお送りください。今後の活動に活用させていただきます。

- ①興味深かった記事は？
- ②分かりにくかった記事は？
- ③今後書いてほしいテーマは？
- ④神戸市議、高橋ひでのりへのご意見・メッセージ